

幌延 ICT 教育通信

発行：幌延情報教育センター

新型コロナウイルス対応の取組その1 臨時休業中の支援検証と リモート学習に向けた準備

臨時休業により、学校での授業や学習支援、生活指導が実施できない状況が、長期にわたって続きましたが、その中で、各学校において、児童生徒の家庭のネットワーク環境を調べるアンケート結果をもとに、様々なアイデアが検討され、実際に「リモート学習」の検証も始まっています。

問寒別小中学校では、家庭に端末とネットワーク環境がある中学生と、環境のない小学校で「オンライン」と「オフライン」の2とおりの取組を行いました。「オンライン」の取組は、朝の会や帰りの会に「Zoom（WEB 会議ツール）」を使用し、授業動画は、「GoogleDrive（クラウド）」にアップロードしたものを生徒が視聴する形式で実施され、「オフライン」の取組でも、iPad で録画した動画をタブレットに保存し、家庭に貸し出す形式で実施しました。

幌延中学校では、1～3年生の全員に、動画や Word 課題、時間割等のデータが保存されたタブレットを貸し出す「オフライン」形式での学習支援を行いました。

通常の学校運営再開後も、こうした各学校での取組、検

証の結果から、どのような形式（端末、ネットワーク環境、使用するサービス）で実施することが実用的であるのかを、非常時の臨時休業等に迷わず対応できるようにするため、継続して検討していくことが課題となります。



幌中各教科での取組事例

- ◎社会
「デジタルノート（ジャスト）を使った課題」
- ◎英語
「英語暗唱の動画自撮り課題」
「カズ先生のリスニング動画」
- ◎理科
「カメラを使った植物観察記録」 など

証の結果から、どのような形式（端末、ネットワーク環境、使用するサービス）で実施することが実用的であるのかを、非常時の臨時休業等に迷わず対応できるようにするため、継続して検討していくことが課題となります。

新型コロナウイルス対応の取組その2 教職員の会議、研修 オンライン形式で推進

例年行われている会議や研修が、「Zoom」等を用いたオンライン形式で実施されるようになってきています。初任者研修のオンデマンド配信や、管内校長教頭会の遠隔開催等、今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着くまでは、このような対応が続くことが予想されます。

すでに町内各学校でも、北海道立教育研究所「Zoom 利用体験」の講座を受講されているとのことでしたが、「どの教室で」「どの端末を使って」のように、実際にいつでも使える体制の準備が必要になりそうです。



幌延小学校 ICT 研修 学校 ICT 機器と 校務支援システムを確認



5月12日（火）、幌延小学校で ICT 研修が行われました。毎年、新しく赴任された先生も含め、学校にある ICT 機器や、その機器を使ってできること（ジャストスマイルドリルや、千歳科学技術大学の「e ラーニング」）を確認しています。また、今回は校務支援システムの説明を、幌延中学校の谷口先生から受け、研修後すぐに、各学年担任の先生方で「出席簿」の操作方法を実際に操作しながら確認しました。

町内 ICT 教育推進のご尽力いつもありがとうございます。「GIGA スクール構想」等、情セ会議や本通信を通して、改めてお伝えします。（情セ事務局 椿）